

事前にこの取付説明書をよく読んでから取付手順通りに作業してください。

⚠ 注 意

- 本機を正しく施工していただく為以下の注意事項を必ずお守りください。
- ・扉部屋外側の製品設置面の汚れを取り除いてください。
 - ・作業中は扉が閉まらない様、必ず半分ほど開けた解錠状態で固定して作業を始めてください。
 - ・電動ドライバー等は締め付け過ぎやネジ穴のつぶれ等の原因となりますので、使用しないでください。

部品構成



Fe-Lock Light 本体



アルカリ 9V 角型電池
※本体装填済



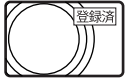
開閉シール 2枚



本体取付ビス
M4×30 M4×40 M4×55 各2本



登録カード (赤) 1枚



登録済ご利用カード (青) 1枚



未登録ご利用カード (青) 2枚

※付属の電池はテスト用電池ですので使用期間が短い場合があります。出来るだけ早めに新しい電池に交換してください。

1 サムターンの形状を確認する

サムターンの形状を確認します
下図を参照し、部屋内側に取り付いているサムターンの形状を確認します。
本製品が対応する錠ケースには、3タイプのサムターンあり、サムターンの形状により取付方法や本体取付ビスが異なります。

A

B

C

サムターンタイプ	A	B	C
本体取付ビス	扉厚 32 ～ 38mm	本体取付ビス① M4×30 サラ	本体取付ビス③ M4×55 サラ
	扉厚 39 ～ 42mm	本体取付ビス② M4×40 サラ	

2 シリンダー・サムターンを外す

シリンダーとサムターンを取り外します。
サムターンの形状により取り外し方が異なります。
ビスを外し、シリンダー・サムターンを取り外します。

A

C

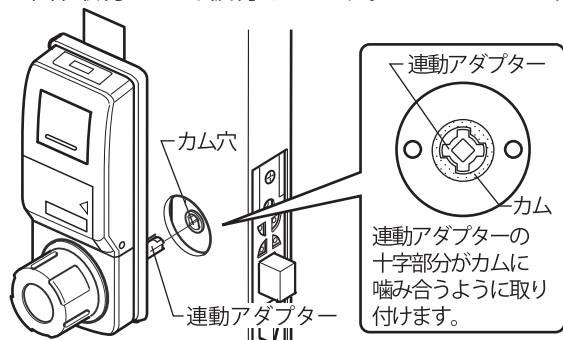
.....

サムターンの側面を持ち、左方向に回しサムターンを外します。 ビスを外しシリンダーを取り外します。

B

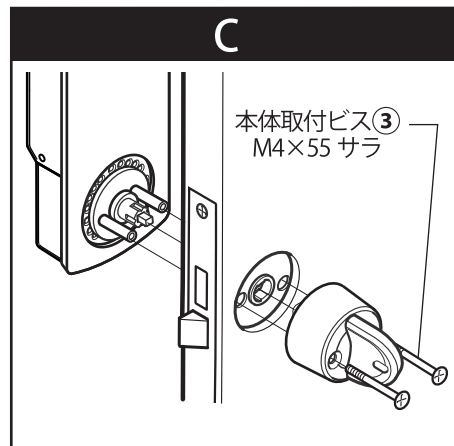
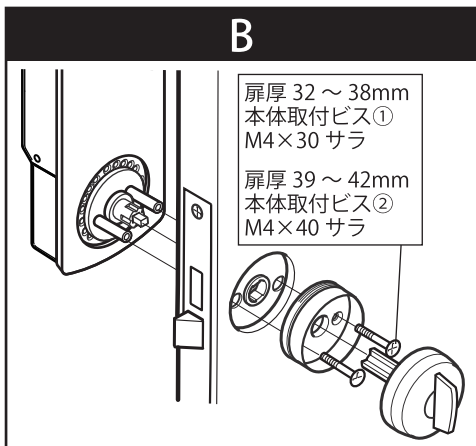
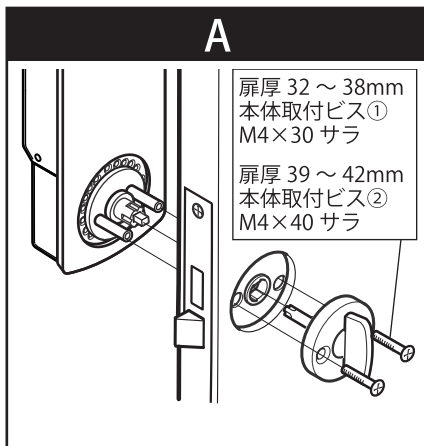
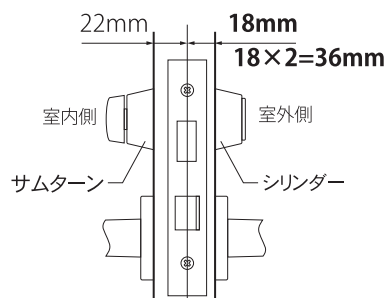
3 Fe-Lock Light本体を仮付けする

Fe-Lock Light 本体連動アダプターを錠ケースのカム穴に入る様に、角度を合わせながらサムターン形状・扉厚に合った本体取付ビスで仮付けします。サムターンを回しデッドボルトがスムーズに動作することを確認します。



扉厚計測のご注意

扉厚対応表は、錠ケースが扉内の中心に設置されている状態での組付位置となります。錠ケースがずれている場合は、錠ケースの中心から室外側扉面を計測し、計測した数値に2を掛けた値で、扉厚対応表を参照し接続金具ベースと接続金具を組付けてください。



※締め付けすぎない様ご注意ください。 ※解錠時にサムターンつまみが縦になるように取り付けてください。

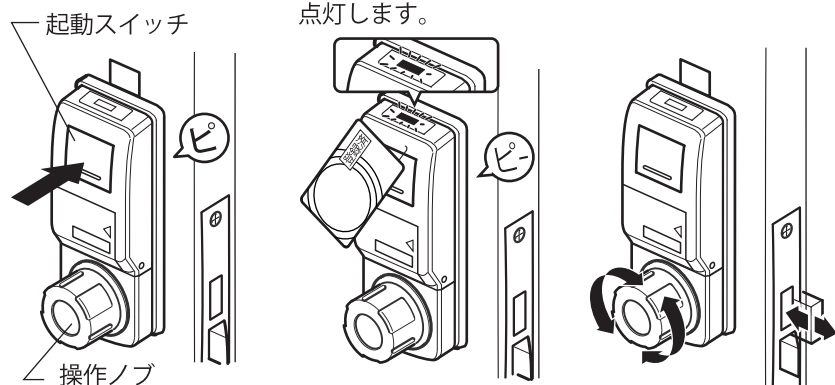
4 動作を確認する

登録済みご利用カードを当てデッドボルトが動作する事を確認します。

Fe-Lock Light 本体の起動スイッチを押します。

登録済みご利用カードを起動スイッチ中心に当てます。表示ランプが緑に点灯します。

操作ノブを回し、デッドボルトが連動する事をご確認下さい。

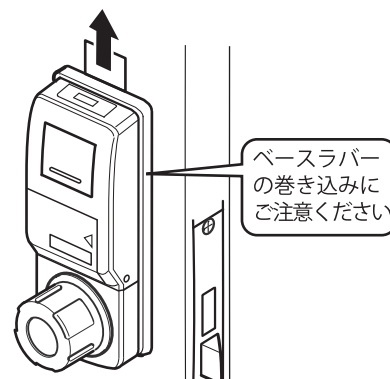


※カードを当ててから5秒後に連動は解除されます。

5 Fe-Lock Light本体を固定する

Fe-Lock Light 本体にズレがない事を確認し両面テープの剥離紙を上から引き抜き、Fe-Lock Light 本体を扉面に押し付け固定します。

※操作ノブの回転が重い場合は本体のズレが考えられます。 ※故障の原因となりますので起動スイッチは押し付けないでください。



6 開閉シールを貼る

Fe-Lock Light 本体に開閉シールを貼り付けます。

操作ノブを回し施錠する(デッドボルトが出る)方向を確認します。

※開閉シールには左右方向がございます。

操作ノブを回し施錠する(デッドボルトが出る)方向にCLOSEの矢印が向くように開閉シールを貼り付けます。

